

2-3 講演、研修、ツアー

「講演、研修、ツアー」は、市内外の方に本市の自然を発信し、自然への理解を深める、自然保護活動団体・教育者への研修などを担当し、人材育成に努めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となりました。

○ 研修

日 時：令和元年8月22日（日）14：00－15：45

目 的：西多摩地区の小学校初任者研修の中で「西多摩地区の自然から学ぶ～校外学習での安全管理～」の講義と実習

実施者：加瀬澤、パプロ

参加者：31人

内 容：本市の小宮地区における代表的な自然環境について紹介し、野外学習を計画・実施する際に必要な準備、危険などについて山歩き実習を行った。

○ ツアー

日 時：令和4年3月27日（日）10：30－14：00

テーマ：郷土の恵みの森づくりで整備した協働の道を歩く

実施者：杉野

参加者：14人

内 容：郷土の恵みの森づくりとして自治会と協働で整備した道を利用したツアーを実施した。

2-4 森づくり事業

平成24年度から戸倉地区で毎年実施されている「新宿の森・あきる野ツアー」は、新宿区民が森林整備体験や森林レンジャーツアーを体験しています。令和元年度は台風のため中止となり、令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となっています。

2-5 アニマルサンクチュアリ活動のその後

平成24年度に始まった野生動物と人が持続的に共存するための取組であるアニマルサンクチュアリ活動は、以下の3つの取組を継続しています（活動の詳細は過去の活動報告書を参照）。

（1）植樹後の森の手入れと見守り



整備前



現在（令和3年）

平成25年度のイベントで、コレンジャーと共に針葉樹の古木や劣勢木を数本伐採し、広葉樹の苗木33本を植樹しました。現在は、野生動物の食害などによって4本のみとなってしまいましたが、令和元年には、野生動物の食物となる果実が実る植物種や林床の植生回復を行うことを目的として、再び針葉樹をスポット的に伐採し、林床に明るい場所を作るとともに、伐採した木や枝葉は、エコスタック（小動物の隠れ場所）を創出する目的で利用するなど、多様な野生動物が生息できる環境を創出するため針広混交林を育てています。

整備前は、針葉樹の森の林床は暗く植物種数も少なかったのですが、現在確認している植物種数は72種で、ヤマグリなど広葉樹の実生だけではなく、絶滅危惧種の植物も確認するようになってきているので、少しずつですが生物多様性の森が育っています。

(2) 人間活動の変化によって生息場所が失われた水生生物の環境づくり



令和3年度（第11期）コレンジャー



モリアオガエルの卵

数十年前まで谷津田だった場所を、平成25年度からビオトープ（生き物たちのための場所）としてコレンジャーと整備を行っています。

○ ビオトープで確認された野生動物（センサーカメラ、目視、痕跡）と植物種数

項目	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	昆虫	植物	合計
種数	17種 以上	40種	3種	6種	27種 以上	69種	162種 以上

(3) 人間活動に影響がある野生動物の動向に関わる調査と注意喚起（「どんぐり結実状況調査」参照）

多くの野生動物の食物となるブナ科どんぐりの結実状況を調査し、秋期にツキノワグマなどの野生動物が人里に下りてくる可能性の大小を見極め、注意喚起に役立てています。結果を東京都や自治会に報告するとともに「森林レンジャーあきる野新聞」を通して広く発信しています。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響によって年間プログラムを単発プログラムに変更したため、コレンジャー活動での調査は中止しています。